

1 第176回国会概観

1 会期及び活動等の概要

(召集・会期)

第176回国会(臨時会)は、平成22年10月1日に召集され、12月3日に終了した。

会期は、召集日の衆参両院の本会議において、12月3日までの64日間と議決された。

開会式は、召集日の午後1時から、参議院議場で行われた。

(院の構成)

参議院では、召集日当日の本会議で、特別委員会(災害対策、沖縄北方、倫理選挙、拉致問題、ODA、消費者問題)の設置が行われた。

衆議院では、召集日当日の本会議で、災害対策等の7特別委員会の設置が行われた。

また、参議院では、11月12日の本会議で、国際・環境・食糧、国民生活、共生・地域の3調査会の設置が行われた。

(所信表明演説・財政演説)

召集日当日、衆参両院の本会議で菅内閣総理大臣の所信表明演説が行われ、これに対する質疑は、衆議院で10月6日及び7日、参議院で7日及び8日にそれぞれ行われた。

平成二十二年度補正予算の提出に伴い、11月2日、衆参両院の本会議で野田財務大臣の財政演説が行われ、これに対する質疑は、衆参両院で11月4日にそれぞれ行われた。

(党首討論)

今国会において国家基本政策委員会合同審査会(党首討論)は行われなかった。

2 予算・決算

(平成二十二年度補正予算)

10月8日に閣議決定された「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」を実施するための措置として、平成二十二年度補正予算3案が、10月29日に提出された。

衆議院では、予算委員会で、平成二十二年度補正予算3案について、11月4日に提案理由の説明を聴取し、8日、9日

10日及び15日に質疑を行い、15日に討論の後、可決した。16日の本会議で平成二十二年度補正予算3案は可決され、参議院に送付された。

参議院では、予算委員会で、平成二十二年度補正予算3案について、11月18日に趣旨説明を聴取し、18日及び19日に総括質疑、22日に一般質疑及び外交防衛・財政等に関する集中審議、25日に北朝鮮

問題等に関する集中審議、26日に懸案事項に関する集中審議及び締めくくり質疑を行い、討論の後、否決した。同日の本案議でも否決され、両院協議会が開かれたが、成案を得ず、衆議院の議決（可決）が国会の議決となった。

（平成二十年度決算）

10月18日、参議院決算委員会では、平成二十年度決算外2件について締めくくり総括質疑を行い、質疑を終局した。

（平成二十一年度決算）

11月19日、平成二十一年度決算外2件が提出された。

3 法律案・条約・決議

（内閣提出法律案）

内閣提出法律案は、今国会提出20件のうち11件が成立（成立率55%）し、3件が参議院で、5件が衆議院でそれぞれ継続審査となり、1件が衆議院で審査未了となった。また、衆議院継続17件のうち3件が成立（成立率約17.6%）し、3件が参議院で、8件が衆議院でそれぞれ継続審査となり、3件が衆議院で審査未了となった。

（参議院議員提出法律案）

参議院議員提出法律案は、今国会提出10件のうち、4件が参議院で継続審査となり、6件が参議院で審査未了となった。参議院継続1件は撤回された。

（衆議院議員提出法律案）

衆議院議員提出法律案は、今国会提出17件のうち10件が成立（成立率約58.8%）し、6件が衆議院で継続審査となり、1

件が衆議院で審査未了となった。衆議院継続24件のうち22件が衆議院で継続審査となり、1件が審査未了となり、1件が撤回された。

（条約）

条約は、今国会提出5件のうち1件が衆議院で継続審査となり、4件が参議院で審査未了となった。

（決議案）

決議案は、6件が提出され、北朝鮮の韓国・大延坪島砲撃に関する決議案、国務大臣仙谷由人君問責決議案、国土交通大臣馬淵澄夫君問責決議案の3件が可決された。

4 その他

（参議院各会派代表者懇談会）

10月5日、議長、副議長、議院運営委員長及び各会派の代表者が出席して参議院各会派代表者懇談会が開催された。同懇談会では、議長から、平成25年の参議院議員通常選挙に向けた選挙制度の見直しに向けて「選挙制度の改革に関する検討会」を発足させることが提案され、了解された。

（国会同意人事案件）

今国会に提出された国会同意人事案件は、15機関48名であり、すべて同意された。

（議会開設120年記念行事）

明治23年に我が国に初めて議会が開設されて以来、本年で120年を迎えたことを祝し、11月29日、天皇皇后両陛下の御臨席のもとに、秋篠宮同妃両殿下が御列席になり、衆参両院議員、国务大臣、各国大使などが参集し、参議院議場において、議会開設120年記念式典が行われた。また、議会政治展示会が憲政記念館において12月1日から10日まで、国会特別参観が12月4日及び5日に行われた。